

平成 28 年 7 月 5 日

各 位

東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号  
 株 式 会 社 エ ス プ ー ル  
 代表取締役会長兼社長 浦上 壮平  
 (コード番号:2471)  
 問 い 合 わせ 先 :  
 取締役管理本部担当 佐藤 英 朗  
 電 話 番 号 03 (6859) 5599 (代表)

平成 28 年 11 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 の 業 績 予 想 と 実 績 値 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、平成 28 年 1 月 13 日に公表いたしました平成 28 年 11 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 (平 成 27 年 12 月 1 日 ~ 平 成 28 年 5 月 31 日) の 連 結 業 績 予 想 と 本 日 公 表 の 実 績 に 差 異 が 生 じ ま し た の で、下 記 の と お り お 知 ら せ いた します。

記

1. 平成 28 年 11 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 (平 成 27 年 12 月 1 日 ~ 平 成 28 年 5 月 31 日) の 業 績 予 想 と 実 績 値 と の 差 異

(単位:百万円/未満切捨)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	3,922	61	55	35	11 円 92 銭
実 績 値 ( B )	4,298	247	240	200	66 円 89 銭
増 減 額 ( B - A )	376	186	185	165	—
増 減 率 ( % )	9.6	304.4	336.6	461.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 27 年 11 月 期 第 2 四 半 期)	3,438	31	27	△14	△4 円 97 銭

2. 差異の理由

売上高につきましては、人材ソリューション事業において、企業の人材不足感が強まっていることもあり、グループ型派遣の推進によって、主力のコールセンター業務と店頭支援業務がともに好調に推移しました。

一方、損益面につきましては、前述の人材ソリューション事業の増収効果に加え、ビジネスソリューション事業の各サービスにおいて、高付加価値化、生産性の改善、業務効率化を強力に推し進めた結果、公表業績予想との比較で売上高総利益率が 5.0 ポイント、売上高販管費比率が 2.5 ポイント、それぞれ改善いたしました。以上の理由により、営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する四半期純利益が、前予想を大幅に上回る結果となりました。

3. 通期の業績予想について

当社グループの当期の業績は、前述のとおり当第2四半期において計画を大きく上回って推移しております。一方で、平成 28 年 10 月に予定されている社会保険の適用拡大やスマートメーター設置業務の受託予定件数等、損益に対する影響を慎重に検討する必要がある事項が存在しております。また、人材採用等の先行投資をより積極的に実施していく予定であります。以上の事情により、現時点では通期の連結業績予想を据え置くこととしました。今後、このまま業績が堅調に推移し業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

【ご参考】平成 28 年 11 月期の連結業績予想(平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日)

(単位:百万円/未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
通期連結業績予想 (A)	8,220	270	258	183	61 円 05 銭
前年度実績 (B)	7,267	59	49	△68	△22 円 86 銭
増減額 (A - B)	952	210	208	252	—
増減率 (%)	13.1	354.1	421.2	—	—

以上

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることにご留意ください。